

創世会  
石川 紀子



石川議員のすべて  
の一般質問が視聴  
できます



**ため池の維持管理方法を再考  
すべきでは**

**Q** 江戸時代の頃より造られた農業用ため池が2022箇所あり、現在でも地元の方に点検や管理をお願いしている。管理者の高齢化や危険な点検作業などが危惧される。管理方法についての見解を伺う。



農業用水と防災ダムの機能を持つ  
桜木池

**地域全体での管理方法についても検討していく**

**A** 近年は、ため池管理人を少数で担う地域が散見されます。今後、加速していく高齢化社会を見据える中で、ため池管理人の担い手について再考する必要性を認識しています。ため池は農業利用だけでなく、

く、地域防災のうえでも重要な役割を果たしていますので、これからは地域全体での管理方法についても検討していきます。

**農業振興地域整備計画の見直しを進めるべきでは**

**Q** 農業振興地域に関する法律に基づき、農用地区域が指定される。5年ごとに行われる定期変更の際に市民の意見は反映されるのか伺う。

**令和5年度に、定期変更に向けた基礎調査を予定している**

**A** 農業振興地域整備計画は、おおむね5年ごとに基礎調査を行う計画を変更します。本市では、前回の定期変更の際、おおむね中学校区単位で説明会を行い、地域の現況及び将来の見通しについての調査を実施しました。令和5年度に予定している基礎調査においても、同様のプロセスを考えています。

志誠会  
草賀 章吉



草賀議員のすべて  
の一般質問が視聴  
できます



**意見交換会における地域ごとの傾向とポイント**

**Q** 学校再編に向けた市民意見交換会が市内9中学校区で終了した。学校区ごとの傾向やポイントとなる意見はどのようなものであったか伺う。

**中学校区ごとに丁寧な情報発信と意見聴取を進めていく**

**A** 中学校区ごとの置かれた状況やこれまでの学園化の経過などによって特色が出たと感じています。南部地域では、少子化対策を求める声が多く出されました。東中、西中学校区においては、再編の必要性を問う意見が多く、小規模校のある学校区では、早期の再編を望む意見が多く出たところと、小規模校を残すことを望む意見が多いところがありました。今後は、中学校区ごとに丁寧な情報発信と意見聴取を進めていくことが必要であると感じました。

**「かけがわまちづくりコミュニティング」の目的と評価は**

**Q** 昭和54年に第1回市民総代会が開催され、現在の「協働によるまちづくりコミュニティング」につながっている。7月30日のまちづくりミーティングは、23人の参加によりワークショップ形式で実施されたが、今回の目的と評価を伺う。

**まちづくりに関わる人を広げる重要な取り組みである**

**A** 今回は、多様な世代や立場の方が、これからの掛川市を共に考え、チャレンジしていく機運を高めることを目的に開催しました。非常に幅広い世代の方の参加により、相互理解が進むとともに、新たな発想や気づき、今後の取り組みのヒントを得る機会になったと評価しています。協働によるまちづくりを進めるには、さまざまな年代の方が関心を持つことが重要で、今回のような楽しい雰囲気の中で自由に意見できる機会は、まちづくりに関わる人を広げるといって重要です。